

令和元年度 事業計画

(当面の事業運営方針)

- (1) 経営改善（収支改善）策の推進
- (2) KIAI の強みを生かした ICT 推進事業活動
- (3) 会員との連携事業促進、並びに会員サービスの充実

1 公益事業

(1) 公益目的支出計画事業

計画事業として申請した3事業を継続して実施します。

- ①九州 ICT セミナー
- ②地域情報化（地方創生×ICT）セミナー
- ③情報発信基礎力向上研修

(2) その他自主事業

①IoT 実装推進ワーキンググループ

九州総合通信局とも連携しながら、九州地域における IoT 実装を推進していくための産学官民連携による活動を展開するとともに、ユーザ企業等を対象とした地域毎の講習会（座学＋ワークショップ）による IoT 人材育成にも努めて参ります。

②その他

情報通信月間事業等、総務省、関係団体等との共同事業についても、費用対効果等を含め、適宜実施を検討していきます。

2 収益事業

(1) コンサルティング事業

会員と連携しながらコンサルティング事業の更なる拡充に努めていきます。次年度からは新たにデータ分析コンサルティング事業が行えるように大学の先生方との連携強化を進めると共に実際に自治体のデータを使った解決事案が行えるように努めて参ります。

(2) 人材育成研修事業

地域における IoT 実装を支援していくため、データ分析／データ利活用に関する多様な研修事業の展開に向けた取り組みを進めていきます。

(3) 事務局受託事業

平成30年度に引き続き、情報通信関係団体の事務局事業を受託します。

3 共益事業

会員向け Web マガジン「Key-Eye」の発行、情報ランナーの発行、総会時の講演の他、「九州地域情報化研究部会」の開催継続など今後も活動の強化を図ります。

4 経営基盤強化に向けた検討

経常収益の重要な基盤要素である「会費」に関しては永年減少傾向が続いており、このままの状態が推移した場合、今後の組織運営に多大な支障が生じてきます。そこで、理事会メンバーの方々を中心に、現在の会費収入減少傾向に一定の歯止めをかけるための「(仮称) 会員増強に向けた懇話会」を発足させ、新規会員獲得等に向けた具体的な取り組みを検討していきます。

詳細なメンバー構成等は理事会にて確定させていただきます。